

香久山風致保全方針

1 地区の概況

大和三山の一つとして、歴史的、景観構造的に重要な要素である天香具山の保全に努めるとともに、麓に点在する農村集落との調和を図る。天香久山は他の二山に比べ、勾配が緩く、なだらかで裾の長い丘陵となっており、麓に点在する農村集落も古い集落形態、建築形態を見せている。山頂付近の豊かな樹林地の保全、緑の稜線の保全による奈良盆地からの遠景の維持・保全に努め、既存のまちなみの一体感を維持する。

2 地区の風致特性

(1) 風致構成要素

自然保全＋歴史保全型

(2) ランドマーク

遠景：天香久山

(3) 主な視点場

藤原宮跡、国道165号、甘樫丘

3 地区の維持・創出すべき風致の内容

(1) 保護すべき要素

天香久山の稜線、緑地

(2) 維持・保全すべき要素

- ・天香久山の裾の緑地
- ・天香久山の裾の集落の屋根並み（中景）

4 ゾーンごとの建築物等の修景に関する方針

○ゾーン1（保護区域）

【概況】

- ・天香久山の山頂付近は、豊かな樹林地となっているが、中腹より麓にかけては、なだらかで裾野の長い丘陵となっており、大和三山の中で独特の全体景観を見せている。
- ・良好な自然が残されており、今後ともこの豊かな緑地の保護、丘陵の稜線等、全体景観の保全が課題となる。

【方針】

- ・原則的に現況を凍結的に保存する。
- ・樹林については、管理・維持目的以外では伐採を行わないものとする。
- ・管理用工作物等の高さや色彩は、森林の中で目立たないものとする。

○ゾーン3（維持・保全区域）

【概況】

- ・天香久山の裾の樹林地であり、一体となって藤原宮跡等の視点場よりの眺望を形成している。
- ・天香久山との調和、一体感の維持、保全が必要である。

【方針】

- ・建築物については、周辺集落の屋根の高さ、形状、色彩を踏襲し、屋根並みの統一感を維持する。

- ・ 工作物については樹林地、緑地に調和する仕上げ、色彩とする。
- ・ 緑地の残置を図り、緑化を推進する。特に、敷地の周囲は緑化に努める。

○ゾーン6（維持・保全区域）

【概況】

- ・ 主に丘陵の麓の旧集落であり、古い集落形態、建築形態が多く残り、統一感があり、緑の多い環境を維持している。遠景として、背後の天香久山に調和した屋根並みを見せている。
- ・ 天香久山と一体となって歴史的景観を形成している屋根並みの統一感の保全及び旧集落の一体感のあるまちなみの維持が課題である。

【方針】

- ・ 屋根並みを保全するため、屋根形状や仕様（色彩・部材）について周辺との統一感を維持する。
- ・ 外壁の仕上げ、色彩の統一感を維持する。
- ・ 工作物は、緑地に調和する仕上げ、色彩とする。
- ・ 生垣等道路面への緑化の推進を図る。また、土塀、石垣等のある部分は、まちなみの調和に配慮し、連続性の維持を図る。